平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名　築地魚市場　株式会社　　上場取引所　東
コード番号　8039　URL　http://www.tsukiji-uoichiba.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 廣石　清治
問合せ先責任者　(役職名) 執行役員経理部長　(氏名) 大竹　利夫　TEL 03-3541-6312
四半期報告書提出予定日　平成25年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績 (平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	59,367	△9.2	△1,544	―	△1,581	―	△3,137	―
24年3月期第3四半期	65,377	△0.9	54	―	128	―	8	―

(注) 包括利益　25年3月期第3四半期　△2,290百万円　(―%)　24年3月期第3四半期　△16百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△139.77	―
24年3月期第3四半期	0.37	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	16,029	4,167	26.0	185.65
24年3月期	19,623	6,525	33.3	290.71

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　4,167百万円　24年3月期　6,525百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	―	―	3.00	3.00
25年3月期	―	―	―		
25年3月期 (予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有
配当予想の修正につきましては、本日(平成25年2月8日)公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成25年 3月期の連結業績予想 (平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,800	△2.8	△2,010	―	△2,070	―	△3,740	―	△166.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有
連結業績予想の修正につきましては、本日 (平成25年2月8日) 公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

(注)詳細は、添付資料P.4「2．サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有

② ①以外の会計方針の変更 ： 無

③ 会計上の見積りの変更 ： 有

④ 修正再表示 ： 無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第１０条の５に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「2．サマリー情報（注記事項）に関する事項 （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	22,475,208 株	24年3月期	22,475,208 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	28,695 株	24年3月期	28,475 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	22,446,601 株	24年3月期3Q	22,447,156 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、
実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 4
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 4
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 8
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（５）セグメント情報等 …… 9
（６）重要な後発事象 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間における水産卸売業界は、我が国の長引く景気低迷による消費不況と魚価低迷の中、卸売市場経由率低下による取扱数量減少に歯止めが掛らず、また年末商戦も盛り上がりを欠き、厳しい業界環境が継続しています。

当第３四半期連結累計期間の売上高は593億67百万円（前年同期は653億77百万円）となり、冷凍水産物の相場下落による販売損失及び在庫品の評価損を計上したことにより、営業損失は15億44百万円（前年同期は54百万円の営業利益）となりました。更に、営業外損失37百万円（前年同期は73百万円の営業外利益）により経常損失は15億81百万円（前年同期は１億28百万円の経常利益）となり、四半期純損失は投資有価証券売却損14億98百万円等の特別損失計上により、31億37百万円（前年同期は８百万円の四半期純利益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

水産物卸売業は、売上高は587億76百万円（前年同期は647億95百万円）、セグメント損失は16億82百万円（前年同期は91百万円のセグメント損失）となりました。冷蔵倉庫業は、売上高は３億64百万円（前年同期は３億51百万円）、セグメント利益は21百万円（前年同期は14百万円のセグメント利益）となりました。不動産賃貸業は、売上高は２億26百万円（前年同期は２億30百万円）、セグメント利益は１億16百万円（前年同期は１億31百万円のセグメント利益）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末の総資産は160億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ35億93百万円減少いたしました。流動資産は117億34百万円となり、１億93百万円増加いたしました。主な要因は、借入金の返済による現金及び預金の減少と、売掛金の増加によるものです。固定資産は42億95百万円となり、37億87百万円減少いたしました。主な要因は、投資有価証券の売却によるものです。

当第３四半期連結会計期間末の負債は118億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億35百万円減少いたしました。流動負債は100億75百万円となり、10億57百万円減少いたしました。主な要因は、短期借入金の返済によるものです。固定負債は17億86百万円となり、１億78百万円減少いたしました。主な要因は長期借入金の返済によるものです。

当第３四半期連結会計期間末の純資産は41億67百万円となり、23億58百万円減少いたしました。主な要因は、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の30.35%から26.00%となりました。

（「東市Ａｃｔｉｏｎ－Ｐｌａｎ」の進捗状況について）

当社は現在、平成24年８月９日に発表した「東市Ａｃｔｉｏｎ－Ｐｌａｎ」（以下「A-Plan」）を実施中でありますが、現在までの進捗状況は以下のとおりとなっております。

（連結ベース、単位：億円）

		第1四半期実績	第2四半期 累計実績	第3四半期 累計実績	通期業績予想	A-Plan計画
業績推移	売 上 高	198	380	594	758	780
	売上総利益	△ 1.0	7.1	14.3	19.3	28.0
	(売上総利益率)	(△0.5%)	(1.9%)	(2.4%)	(2.5%)	(3.6%)
	販 管 費	10.4	19.9	29.7	39.4	37.9
	営業利益	△ 11.4	△ 12.7	△ 15.4	△ 20.1	△ 10.0
	営業外損益	△ 0.5	△ 0.2	△ 0.4	△ 0.6	△ 1.0
	経常利益	△ 11.9	△ 12.9	△ 15.8	△ 20.7	△ 11.0
	特別損益	△ 15.4	△ 10.1	△ 15.3	△ 16.5	△ 15.0
	当期純利益	△ 27.3	△ 23.1	△ 31.4	△ 37.4	△ 26.0

（連結ベース、単位：億円）

		2012年6月末現在	2012年9月末現在	2012年12月末現在	2013年3月末見込	A-Plan計画
主要計数推移	在　　庫	50	44	44	33	35
	有価証券	40	22	11	11	20～25
	ネット有利子負債	83	63	53	46	55
	純 資 産	46	43	42	35	45
	ネットD/E・Ratio	1.7倍	1.5倍	1.3倍	1.3倍	1.2倍
	営業CF累計	△ 14	△ 15	△ 17	△ 11	0
	総 資 産	183	168	160	140	160
	自己資本比率	25%	26%	26%	25%	27%

（第３四半期までの進捗状況）

第３四半期までの「A-Plan」計画対比の進捗状況は、売上高が約76％に推移したものの、マグロ、冷凍魚関係が苦戦し売上総利益率は2.4％と計画に比べビハインド、営業損失は15.4億円と悪化しました。また、第２四半期で計上した有価証券評価損の戻り益約５億円は、売却処理により約５億円の特別損失の計上となり、純損失は31.4億円となりました。

一方、財務面では、流動性の低かった有価証券を追加的に約11億円売却し現金化、第２四半期末の有価証券残高22億円を11億円まで圧縮、第３四半期末ネット有利子負債は53億円と計画を上回る削減となりました。なお、純損失は約８億円悪化しましたが、有価証券評価差額金が△６億円から＋１億円へと７億円改善し、純資産は１億円の減少となっています。

（通期業績予想）

年明け後も、マグロ相場は下落が続いており、第４四半期に見込むこれら処分損と全般的な売上総利益率の低下により、通期の営業損失は20億円と「A-Plan」対比10億円の悪化を見込んでいます。更に、第３四半期までに計上した有価証券処分損に加え、第４四半期では合理化に伴う損失等を特別損失に計上する予定であり、通期の純損失は37.4億円と「A-Plan」対比約11億円の減益となる見込みです。

財務面では、第４四半期でマグロを中心とする在庫は早期処分に努め第３四半期対比で11億円削減し、営業ＣＦを６億円改善させる予定であり、第４四半期ではネット有利子負債は第３四半期末より更に７億円削減し、46億円レベルに低下となる見込みです。

（「A-Plan2013年度計画」の修正について）

		A-Plan修正計画 (2013年2月8日公表)	A-Plan計画 (2012年8月9日公表)
業績計画	売 上 高	758	835
	売上総利益	37.9	40.6
	(売上総利益率)	(4.9%)	(4.9%)
	販 管 費	35.3	37.6
	(内、人件費)	(18.1)	(19.9)
	(内、一般経費)	(17.1)	(17.7)
	営業利益	2.6	3.0
	経常利益	2.0	2.0
	特別損益	0.0	0.0
	当期純利益	2.0	2.0

当社は、2012年度中に、財務リストラ（有価証券処分、在庫縮減によるネット有利子負債削減）による資産サイドのリスクの軽減と、グループ収益力強化に向けた事業統廃合（東市フレッシュ清算、八王子魚市場の合併決議）等、「A-Plan」を実施して参りました。

更に、当社は、社員の意識改革を図り、「A-Plan2013年度計画」の達成をより確かなものとするため、今般、

※２本部制による機能別・戦略組織への営業部門の機構改革

※組織別採算の新会計システム

※管理職への新人事制度（従来の年功型賃金制度を廃し成果主義によるメリハリのある報酬制度とする）

を実施または導入することと致しました。

これらの施策により、各組織の指揮命令系統及び、管理職の権限と責任の明確化、目標管理の徹底等を図り、構造改革の実現に取り組んで参ります。

なお、業界環境に好転の兆しが見えず、厳しい状況が続く中、スピードをあげて更なる構造改革に取り組んで参りますが、当社は、このような現況を踏まえ、2012年８月９日公表の「A-Plan2013年度計画」を見直し、新人事制度導入と人員削減効果（グループ総従業員数を前期末285名から今期末256名へ削減）、並びに物流コスト削減等の諸施策による2.3億円の経費削減計画を織り込み、売上高及び売上総利益を下方修正して、当初の経常利益、当期純利益を確保する「A-Plan2013年度計画」の修正を上記の通り、公表させて頂くことと致しました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年３月期の連結業績予想につきましては、第３四半期連結累計期間における実績を勘案し、平成24年８月９日に公表いたしました内容から、通期の業績予想を下方修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成25年２月８日）公表いたしました「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より平成24年４月１日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更が損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,032	974
受取手形及び売掛金	4,529	5,544
前渡金	55	253
商品及び製品	4,691	4,426
原材料及び貯蔵品	24	11
その他	389	692
貸倒引当金	△181	△169
流動資産合計	11,540	11,734
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,039	1,933
その他（純額）	1,126	1,075
有形固定資産合計	3,166	3,009
無形固定資産	88	83
投資その他の資産		
投資有価証券	4,727	1,118
その他	303	290
貸倒引当金	△202	△206
投資その他の資産合計	4,828	1,202
固定資産合計	8,082	4,295
資産合計	19,623	16,029
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,667	3,837
短期借入金	7,821	5,732
未払法人税等	11	27
賞与引当金	42	8
その他	589	469
流動負債合計	11,132	10,075
固定負債		
長期借入金	606	499
長期未払金	54	24
繰延税金負債	75	74
退職給付引当金	578	561
その他	650	625
固定負債合計	1,965	1,786
負債合計	13,098	11,862

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,037	2,037
資本剰余金	1,309	1,309
利益剰余金	3,922	718
自己株式	△5	△5
株主資本合計	7,264	4,059
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△753	89
繰延ヘッジ損益	△3	0
土地再評価差額金	18	18
その他の包括利益累計額合計	△738	107
純資産合計	6,525	4,167
負債純資産合計	19,623	16,029

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	65,377	59,367
売上原価	62,212	57,937
売上総利益	3,164	1,429
販売費及び一般管理費	3,110	2,974
営業利益又は営業損失（△）	54	△1,544
営業外収益		
受取利息	6	9
受取配当金	79	49
有価証券運用益	62	－
その他	20	35
営業外収益合計	169	94
営業外費用		
支払利息	81	82
有価証券運用損	－	27
その他	14	21
営業外費用合計	96	131
経常利益又は経常損失（△）	128	△1,581
特別利益		
投資有価証券売却益	－	109
補助金収入	－	36
特別利益合計	－	146
特別損失		
投資有価証券評価損	42	3
投資有価証券売却損	－	1,498
固定資産圧縮損	－	34
減損損失	－	59
事業整理損	－	80
訴訟和解金等	83	－
特別損失合計	126	1,677
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	1	△3,113
法人税等	△6	24
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	8	△3,137
四半期純利益又は四半期純損失（△）	8	△3,137

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	8	△3,137
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26	842
繰延ヘッジ損益	△0	3
土地再評価差額金	1	－
その他の包括利益合計	△25	846
四半期包括利益	△16	△2,290
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△16	△2,290
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
当第３四半期連結累計期間において、31億37百万円の四半期純損失を計上したため、当第３四半期連結会計期間末において株主資本が40億59百万円となりました。

（５）セグメント情報等
Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	水産物卸売業	冷蔵倉庫業	不動産賃貸業	合　計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
売上高						
外部顧客への売上高	64,795	351	230	65,377	－	65,377
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	18	0	18	(18)	－
計	64,795	370	230	65,396	(18)	65,377
セグメント利益又は損失（△）	△91	14	131	54	－	54

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額は、セグメント間取引消去額であります。
２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）
１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	水産物卸売業	冷蔵倉庫業	不動産賃貸業	合　計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
売上高						
外部顧客への売上高	58,776	364	226	59,367	－	59,367
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	23	0	23	(23)	－
計	58,776	388	226	59,391	(23)	59,367
セグメント利益又は損失（△）	△1,682	21	116	△1,544	－	△1,544

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額は、セグメント間取引消去額であります。
２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
（固定資産に係る重要な減損損失）
「水産物卸売業」において、製造設備等の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第３四半期連結累計期間においては59百万円であります。

（６）重要な後発事象

連結子会社の吸収合併

当社は、平成25年２月８日開催の取締役会において、当社の連結子会社である八王子魚市場株式会社を吸収合併することを決議いたしました。

詳細につきましては、本日（平成25年２月８日）公表の「連結子会社の吸収合併（簡易合併・略式合併）に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、この合併による連結業績への影響はありません。